



おおばし

岩野田小学校

学校便り

令和6年12月1日 NO.9

「おおばし」の由来：岩野田小学校の昔の名称が大橋小学校（明治14年）



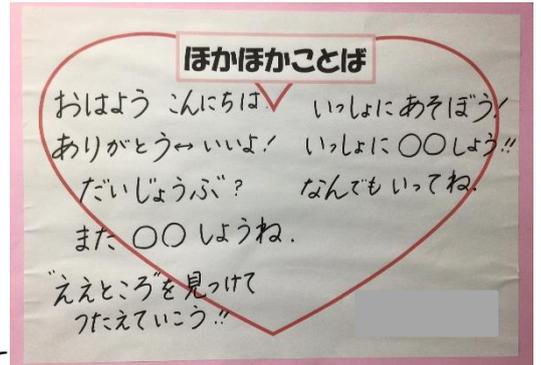
ひびきあい週間 11月25日～12月6日

岩野田小学校では、毎年この時期に「ひびきあい週間」として、人権について皆で考える期間を設けています。今年度は、まず、岐阜市が掲げる「12の人権課題」について知り、その後、人との関わりの中で、相手の気持ちを考えて行動し、よりよい人間関係づくりができるよう、大きく4つの取組を行っています。

- 取組① 全校集会で、「12の人権課題」についての話を聞く。今月の歌「ビリーブ」を歌う。
- 取組② 「12の人権課題」や「親切・思いやり」に関する資料を使って、道徳の授業を行う。
- 取組③ 各学級で「ほかほか言葉」を出し合い、掲示する。日常で、ほかほか言葉を意識して使う。
- 取組④ 学級や他学年の仲間の「みんなのしあわせ」につながるよい姿を見つけ、カードに書き、相手に渡す。その後、全校分を廊下に掲示する。

先日、各学級で取組③の「ほかほか言葉」について考えました。日々の仲間との関わりの中で、言われてうれしかった言葉を思い出しながら話し合いを進めました。

今、各学級では、たくさん見つけた具体的な「ほかほか言葉」を紙に書いて掲示し、毎日見て実際に使えるよう取り組んでいます。ひびきあい週間をきっかけに、今後、相手を思いやった「ほかほか言葉」が日常的に交わされるよう取り組んでいきます。ぜひ、ご家庭でも「ほかほか言葉」を意識した会話を心がけてみてください。（「ありがとう」の言葉は、意外と言えていないかもしれません。）



学校運営協議会委員の方が 道徳の授業を参観

11月27日（水）に、第2回学校運営協議会を行いました。この会は、学校と地域が連携してよりよい学校を運営していこうというねらいのもと、年3回、岩野田地域の自治会や福祉、社会教育、学校関係者、卒業生代表、保護者代表の方々に参加していただき、多くのご意見やアドバイスをいただいて、その後の学校運営に生かしています。今回は「ひびきあい週間」でしたので、全学級、道徳の授業を参観していただきました。委員の方からは、「子どもたちが一生懸命考えていた。」「問いかけに対して素早くに反応し、自分の思いを話すことができています。また、仲間の意見にもすぐ反応して答えている。」「子どもたちの実態に合わせ、各先生が工夫して問いかけたり、資料を準備したりしている。」など、うれしいご意見を伺うことができました。また今後に向けて、発達段階に合わせた話の聞き方を職員間で確認し指導していくこと、高学年であっても体験や季節感を感じるような活動を取り入れていくことなどを教えていただきました。これからの学校運営に生かしていきたいと思えます。

